



国立民族学博物館 友の会ニュース

MINPAKU ASSOCIATES NEWSLETTER

No. 287

2024.8 (臨時号)

「国立民族学博物館友の会」は「みんぱく（国立民族学博物館）」の活動を支援し、博物館を楽しみ、積極的に活用するためにつくられました。

発行日 2024年8月1日
編集・発行 公益財団法人千里文化財団

民族学研修の旅
体験セミナー

今秋募集開始！海外「民族学研修の旅」を再開します！

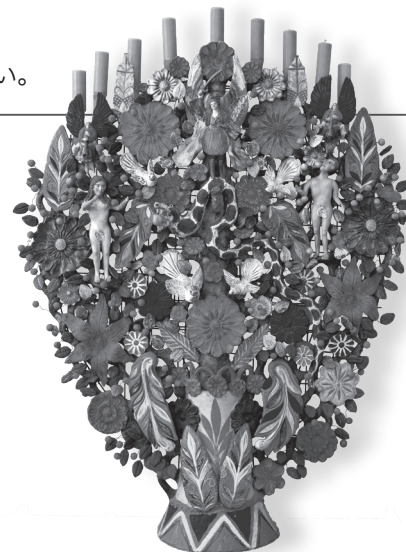
友の会の現地訪問企画のご案内

研究者同行の海外訪問企画「民族学研修の旅」。2019年の訪問をさいごに休止していましたが、このたび再開の運びとなりました！訪問先はメキシコです。募集開始は9月初旬で、2025年2月の実施を予定しています。あわせて、今年度1本目の国内訪問企画「体験セミナー」についてもご案内いたします。研究者同行の現地訪問企画は、みんぱく友の会の醍醐味です。みなさん、ぜひご参加ください。

民族学研修の旅の計画をちょっとのぞき見！

メキシコの民衆芸術を訪ねます！

2023年春に開催したみんぱくの特別展「ラテンアメリカの民衆芸術」。会期中はたくさんの来館者でにぎわいました。この特別展のコンセプトを現地で体験するのが、今年度の研修の旅です。ラテンアメリカ諸国では、民衆のつくる洗練された手工芸品を「アルテ・ポプラー（民衆芸術）」とよびます。特別展では三つの意味から「民衆芸術」をとらえました。ひとつめは、多様な文化から生み出された伝統的な造形表現、ふたつめは国民の芸術としての表現、三つめは市民の批判精神としての表現です。今回は、訪問先をメキシコにしぼり、民衆芸術をとおして、ラテンアメリカの人びとが経験してきた歴史の多層性と文化の多重性を肌で感じます。旅では、民衆芸術の生産地やみんぱくの所蔵資料を制作した工房を訪ねます。みんぱくゆかりの職人による指導のもと、手工芸品づくりのワークショップも計画！公共空間に描かれた壁画や版画作品を見学するほか、古代文明の遺跡や植民地時代に建設された教会、ローカルな市場などにも足を運びます。(2025年2月中下旬実施予定)



陶芸の町、メヒコ州メテベックでつくられる生命の木。
みんぱく所蔵のこの作品を制作した工房も訪問します。

体験セミナーは次ページでくわしく！



日月祭の三十三度の礼拝神楽 撮影・梅野 光興

民間信仰、いざなぎ流に迫ります！

いざなぎ流が伝わる高知県香美市物部町を訪ねます。いざなぎ流は、陰陽道や修験道、密教や神道などが入り混じってできたといわれる信仰で、物語性豊かな祭文、神がみをあらわした御幣などが知られています。いざなぎ流をとおして「見えない存在」とともに生きてきた、山間地域の人びとの暮らしや想像力に迫ります。(2024年10月実施予定)

館内の催しもお楽しみに ▶▶▶ 8月の会員先行予約のご案内

◎申込期間中に、下記友の会事務局までご連絡ください◎

第549回みんぱくゼミナール
「世界を異化する歌と語り——エチオピアの吟遊詩人」
9月21日(土) 13:30～15:00 (13:00開場)
講師：川瀬 慈 (民博教授)
申込期間：8月8日(木)～16日(金)

みんぱく映画会
「一八九五」
9月8日(日) 13:30～16:15 (13:00開場)
解説：河合 洋尚 (東京都立大学准教授)、司会：奈良 雅史 (民博准教授)
申込期間：8月2日(金)まで

友の会に関するお問い合わせ・お申し込みはこちら

友の会はいつでも、どなたでもご入会いただけます。

国立民族学博物館友の会
公益財団法人千里文化財団

〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10-1 (国立民族学博物館3階)
電話 06-6877-8893 (9:00～17:00、土日祝を除く)
FAX 06-6878-3716
email minpakutomo@senri-f.or.jp
HP https://www.senri-f.or.jp/minpaku_associates/



【募集】第86回体験セミナー

神や精霊の声を聴く

—— 土佐物部の民間信仰、いざなぎ流を訪ねる

同行講師：梅野 光興(高知県立歴史民俗資料館学芸員)

日時：2024年10月17日(木)～18日(金)

申込締切：2024年9月13日(金)

友の会会員(*)は8月2日(金)、それ以外の方は8月9日(金)より受付開始。

参加費：76,000円(行程中の移動費、食費、宿泊費【相部屋】、見学費を含む)

募集人数：18名(最少催行人数13名)(先着順)

*維持会員・正会員・家族会員が対象です。

上記会員以外の方は、維持会員か正会員もしくは体験会員にご登録ください。



いざなぎ流の祭礼、日月祭のための湯立て 撮影・梅野 光興

同行講師

梅野 光興 Umeno Mitsuoki

高知県立歴史民俗資料館学芸員。専門は民俗学。いざなぎ流について調査を続けてきた。所属館で企画した展覧会に「いざなぎ流の宇宙」(1997年)、「秘められた神と祭り——高知県の不思議を訪ねて」(2024年)など。みんぱくの特別展「驚異と怪異」に、地域独自のアレンジを加えた企画展「驚異と怪異——世界の幻獣と霊獣たち」(2022年、高知県立歴史民俗資料館)を担当。

旅程

集合：①JR高知駅(9時頃)

②高知龍馬空港(9時45分頃)

土佐の歴史・文化・暮らしを紹介する高知県立歴史民俗資料館へ。「民俗」展示には、いざなぎ流について紹介するコーナーがあります。レクチャー、展示見学をとおして、いざなぎ流の信仰世界、その知識が育まれた山間地域の暮らしについて理解を深めます。昼食後、物部へ移動。準備が進む日月祭の三階の棚(祭壇)を見学。その後、段々畑が美しい影仙頭へ。傾斜地の多い物部の山村集落を一望します。夕食は物部の食材を取り入れた弁当です。夕食後、日月祭を見学。(南国市泊)

物部町へ移動。午前中は、神社や伝承地などいざなぎ流ゆかりの場所を巡ります。その後「いざなぎ流のこころに出逢う」をコンセプトに、少人数制の宿泊施設を営むまきの宿で昼食(物部の食材を取り入れた弁当)。午後は、いざなぎ流の太夫を迎えて話しをうかがいます。太夫の指導のもと御幣切りを体験し、帰路につきます。

解散：①JR土佐山田駅(17時10分頃)

②高知龍馬空港(17時半頃)

※諸事情により行程を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ご参加にあたってのご案内

- ・日月祭では祭りの一部を見学します。18時～22時頃の見学を予定しており、宿への帰着は23時半頃になります(ご希望の方は19時頃に宿にお送りいたします)。
- ・日月祭は、地域社会に根差した信仰行事です。旅程も「祭りの決まり事」に則って設定しています。通常のセミナーとは異なる時間配分に加え、見やすい場所や休憩場所の確保はお約束できません。他見学者と譲り合ってご参加ください。

「いざなぎ流」は、高知県の北東部、徳島県との県境に位置する香美市物部町に伝わる民間信仰です。物部川の upstream に位置するこの地域は、焼畑農耕や林業を生業としてきた典型的な山村でした。山深いこの地では、妖怪に出会ったという話が多く残されています。そうした妖怪はまた、人に病や不幸をもたらす存在でもありと考えられています。山は本来、山の神らの領域であり、人びとは「見えない存在」を畏れながら生活を営んできたのです。いざなぎ流は、そんな物部に伝わる神がみをまつる方法で、生活の変化や急速な過疎化に伴い規模や姿を変えながらも、いまでも実践されています。

陰陽道や修験道、密教や神道の要素が入り混じってできたといわれるいざなぎ流は、「太夫」とよばれる地域の宗教者によって、その知識が管理・継承されてきました。太夫は人びとの求めに応じて、祭りや祈禱をおこないます。家の神や氏神の祭り、山川の鎮め、医者や少ない時代には病人祈禱も担っていました。祭礼では、神や精霊をあらわした多種多様な御幣をかざり、神がみの由来や物事の起源を語る祭文を唱えます。太夫は、古いやくじを用いて、神霊に意思を問いかねながら祭礼を進めます。また、「スソ(呪退)」とよばれる、呪いの概念が残ることも特徴のひとつです。太夫は、祭礼をはじめの際に、まずスソを集めて取り払います。スソは人の恨みや妬みから生じるものです。

第八六回体験セミナーでは、このいざなぎ流に着目し、山間の地で育まれてきた信仰世界と、神や精霊とともに生きる人びとの想像力に迫ります。当日は、月の出を拝む「日月祭」にも参加します。いざなぎ流を支える技術や知識の数々に、信仰の現場でふれることのできる貴重な機会です。

見えないものの存在を認め、対話する——。こうした営みは、人間にとってどのような意味をもつのでしょうか。みなさんのご参加をお待ちしています。

旅の参考に!



『いざなぎ流の宇宙——神と人のものがたり』(高知県立歴史民俗資料館)

『季刊民族学』91号(千里文化財団)

ともに梅野先生ご執筆!豊富な取材データとともに、いざなぎ流の知識がまとめられています。

受付フォーム



<https://www.senri-f.or.jp/86taiken/>

みんぱく友の会ホームページ内にあります。

お問い合わせ・お申し込みについて

お申し込みは、上記受付フォームもしくはお電話をご利用ください。申込締切日を目安に、参加手続き書類・パンフレットをお送りします。正会員の方は同伴者1名まで同条件でお申し込みいただけます。詳しくは国立民族学博物館友の会までお問い合わせください。

研修企画

公益財団法人千里文化財団「国立民族学博物館友の会」係
TEL: 06-6877-8893 ※受付時間: 平日9:00~17:00

旅行企画 実施

有限会社香北観光トラベル
高知県知事登録旅行業 第3種-95号